

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年3月6日)

- 1 山陰海岸ジオパークを舞台にした香港・地元高校生の交流について

【観光戦略課】・・・1ページ

- 2 米子ソウル便の過去最高の月間搭乗者数及び搭乗率達成について

【観光戦略課】・・・2ページ

- 3 第2回伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会総会について

【西部総合事務所地域振興局】・・・3ページ

観光交流局



山陰海岸ジオパークを舞台にした香港・地元高校生の交流について

平成 29 年 3 月 6 日
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館
観 光 戦 略 課

米子空港便を活用して、香港ジオパークについて学んでいる香港の高校生が来県し、山陰海岸ジオパークについて学んでいる鳥取県内の高校生と交流等を行うこととなりましたので、その概要について報告します。

1 訪問団等

<訪問団>

羅定邦中學（ロウディンポン中學 Law Ting Pong Secondary School）4年生を中心とした25名

※ 4年生：当該学校は中高一貫校。日本でいう高校1年生に相当する。

<地元高校生>

鳥取敬愛高等学校1年生25名

2 日程概要

3月18日（土）

米子空港着
宿舎（鳥取市内）着

3月19日（日）

宿舎（鳥取市内）発	鳥取敬愛高校との交流事業として実施
岩美町立渚交流館（プレゼン・意見交換 ※）	
山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館視察	
鳥取砂丘ジオパークセンター視察	
鳥取砂丘散策	
青山剛昌ふるさと館視察	
宿舎（米子市内）着	

※ プレゼン・意見交換：生徒代表がそれぞれのジオパークについて英語でプレゼンテーションを行い、質疑応答・意見交換を行う。

3月20日（月）・21日（火）隠岐ジオパーク視察

3月22日（水）米子空港発→香港へ

（参考）香港ジオパークの概要

- ・ 国内ジオパークに認定：2009年（山陰海岸ジオパーク：2008年）
- ・ 世界ジオパークに認定：2011年（山陰海岸ジオパーク：2010年）
- ・ ジオパーク面積：50 km²（山陰海岸ジオパーク：2,458 km²）
- ・ ジオサイト（見どころ）数：8か所（山陰海岸ジオパーク：58か所）
- ・ トレイルコース：総延長29km（山陰海岸ジオパーク：総延長64km）
- ・ 主な見どころ

擲船灣（High Island 西貢火山岩園区）
約1億4千万年前の火山活動により形成された六角柱状節理が広範囲にわたり露出している。



米子ソウル便の過去最高の月間搭乗者数及び搭乗率達成について

平成29年3月6日
観光戦略課

エアソウル米子ソウル国際定期便の平成29年2月の利用実績は、搭乗者数4,264名、うち韓国人搭乗者数3,704名、搭乗率91.1%を記録し、平成13年の就航以降、月間の搭乗者数、韓国人搭乗者数、搭乗率の過去最高を同時に達成しました。

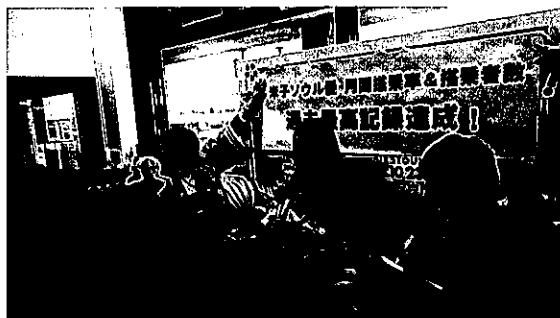
1 平成29年2月利用実績

※()内は前年同月

提供座席数	搭乗者数	韓国人搭乗者数	搭乗率
4,680席 (4,152席)	4,264席 (3,170席)	3,704席 (2,673席)	91.1% (76.3%)

【概況】

- ・月間搭乗者数の従来の過去最高記録である平成29年1月の4,218名を46名更新
また、韓国人搭乗者数の過去最高記録である平成29年1月の3,567名を137名更新
- ・月間搭乗率の従来の最高記録である平成27年2月の88.7%を2.4ポイント更新



平成29年2月28日 月間搭乗率&搭乗者数等過去最高記録達成セレモニー

2 要因

インバウンド（韓国からの誘客）拡大のため、エアソウル就航に向けて取り組んできた韓国におけるPR（個人客対策としてSNS（下記※参照）・メディア（新聞・テレビ等）・ブロッガー（ブログの作者）等の活用）の効果が現れてきたことに加え、韓国人に冬の鳥取の「蟹と温泉」人気が定着していたこと、11月から行っていた鳥取中部地震の風評被害対策及びエアソウル就航記念の各種キャンペーンの効果が現れたと推測。

また、韓国のケーブルテレビによる鳥取県ツアーのホームショッピングでの集客が好調であり、エアソウルになり座席数が各便24席増加（171席→195席）し、受け皿が拡大したことも搭乗者増につながった。

3 今後の取組

- ・インバウンド（韓国からの誘客）：4月以降（春～夏）が閑散期のため、引き続き韓国での認知度向上に努める。
- ・アウトバウンド（日本からの送客）：低廉になった航空料金を広くPRし、若者層などの利用拡大を図る。

※SNS：インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図ることができるよう設計された会員制サービス。ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略

第2回伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会総会について

平成29年3月6日
西部総合事務所地域振興局

今年度2回目となる伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会総会を2月24日にし、執行体制の変更及び平成29年度事業計画が承認されたほか、公式ロゴマークを発表しました。

1 総会概要

(1) 日 時 平成29年2月24日(金) 午後4時30分から午後5時10分まで(終了後ロゴマーク表彰式)

(2) 場 所 米子市福祉保健総合センターふれあいの里

(3) 議 事

いずれも原案(下記)のとおり承認

ア 執行体制の変更について

前会長が辞任の意向を表明されたことを受け、新会長の選出等の執行体制の変更
[新体制]

会 長	(新) 松村順史	鳥取県経済同友会西部地区代表幹事
副会長	足立敏雄	大山観光局代表理事
	(新) 細田耕治	鳥取県経済同友会西部地区 副代表幹事・日野町商工会副会長
	野津寛美	米子商工会議所女性会会長
	大山山麓各市町長(大山町長、米子市長、伯耆町長、江府町長、倉吉市長、三朝町長、琴浦町長)	、西部総合事務所長(事務局担当) (11名)
監 事	野島謙	米子市観光協会会長
	丸山堅一	(公財)とっとりコンベンションビューロー常務理事

※石村前会長は通常の委員として実行委員会に残留

イ 平成29年度事業計画案・収支予算案について

(平成29年度事業計画・収支予算案)

事業名	予算額(千円)	主な事業
1 プロジェクト別事業	98,377	
(1) 実行委員会主催事業 各プロジェクトテーマに沿って実行委員会が主催実施するもの	64,687	<大山の恵みプロジェクト> ・刀剣コンテンツイベント ・歴史読本「伯耆国・大山」(仮称)製作 <「緑と星空」プロジェクト> ・「星取県」大山フェスティバルキックオフイベント ・「ホーリー・トレイル」大山・三徳山ルート(プレ版)大会 <「水と食」のプロジェクト> ・大山開山1300年祭記念名物料理開発 等
(2) 市町村主催事業 (実行委員会連携事業) 市町村等主催の事業と実行委員会が連携して実施するもの	33,690	<大山の恵みプロジェクト> ・奥日野たたら製鉄モニターツアー <「緑と星空」プロジェクト> ・妖怪ナイトウォーク ・大山の原風景「茅葺き屋根」再生体験イベント ・大山-三徳山ロングトレイル連携事業 <「水と食」のプロジェクト> ・大山開山1300年記念奥日野「食」パワーブランド化事業 等
2 地元の魅力向上事業 (伯耆国大山圏域魅力向上支援補助金)	5,000	圏域の魅力向上等や機運醸成に繋がる民間団体等が行う活動を支援(@200千円定額補助×25団体程度)
3 広報宣伝事業	23,000	実行委員会主催事業、その他関係事業等の情報発信(ホームページ、PR活動等、パンフレット製作等)
4 事務局経費	15,000	事務局運営等に係る経費
計	141,377	

※上記予算は、鳥取県並びに関係各市町村における平成29年度当初予算の成立が条件(財源は県・市町村の負担金)

ウ 報告事項

・ロゴマークの発表について(別紙参照)

ロゴマーク募集による最優秀賞作品を伯耆国「大山開山1300年祭」ロゴマークとして決定
応募総数 472作品 (県内168作品 県外(34都道府県)304作品)

2 ロゴマーク表彰式

総会終了後、松村新会長から決定した伯耆国「大山開山1300年祭」ロゴマークの制作者(最優秀賞受賞者)に対して賞状及び賞金目録(20万円)を授与

最優秀賞受賞者 堀谷 真澄(ほりたに ますみ): 松江市在住。米子市勤務(今井印刷㈱)

〈松村会長コメント〉

・今回決定したロゴマークを強く打ち出すことにより、官民一体となって取り組む伯耆国「大山開山1300年祭」を全国に広くPRできるものと期待している。

〈堀谷氏(最優秀賞受賞者)コメント〉

・毎日松江から米子に通勤している中で癒やされるのが、運転していると大山が綺麗に見えること。ロゴとともに大山開山1300年祭を全国に発信していただき、沢山の人がキレイな大山を見に来ていただきたいと考えている。

(別紙)

伯耆国「大山開山1300年祭」ロゴマーク

〈最優秀賞作品〉

堀谷 真澄 (ほりたに ますみ) さん (男性) ・ ・ ・ ・ 松江市在住 (勤務地: 米子)



《作品説明》

「1300」を横に倒した形を「海の水辺」「大山の稜線」「月」「太陽」に見立てて図案化し、自然あふれる大山を表現。ロゴタイプにはポップな字体を用いて新しさを演出。1300年の歴史が脈々と続き、さらに新しい時代へと受け継がれていくのを予感させている。「1300」を横にした図案というのがわかりやすいように、またロゴタイプに華やかさと変化を加えるため、シンボルマークで使用する図案をロゴタイプにも使用している。

◆ロゴマークを幅広くご活用いただくため、シンボルマーク、ロゴタイプの単独使用も可能。
また、それぞれ「2018」表示のあるものと無いものを準備しており、組み合わせての使用も出来る。

○シンボルマーク (図形) 単独使用

2018有	2018無

○ロゴタイプ (文字) 単独使用

2018有	2018無
2018 伯耆国「大山開山1300年祭」	伯耆国「大山開山1300年祭」

〈参考〉ロゴマークの募集について

(1) 募集期間 平成28年11月15日から12月13日 (29日間)

(2) 応募総数 472作品

(参考) 都道府県別応募状況 ※35都道府県から応募

鳥取県	東京都	大阪府	島根県	京都府	その他
168	70	44	31	20	139